

守りたい命がありますか？  
たいせつな命だから守りたい



ごろんと寝転んでることの多い赤ちゃん  
寒くない？

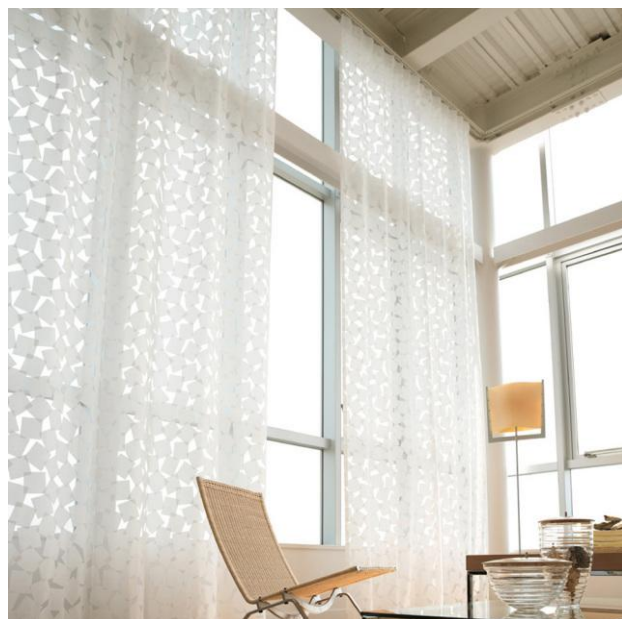
日本人の約8割の人が悩んでいる「冷え性」  
「冷え性」になりにくい室内環境の条件は？

暖かい空気は上に、冷たい空気は下に溜まりがちです。室内に上下の温度差があると、床面付近の温度が低くなり、結果として足の皮膚温が低くなります。室温と床温の差が 2℃であれば、皮膚温がほとんど低下していないのに対し、温度差が大きくなるほど、皮膚温が大きく低下しています。一方、床温が室温より高い場合は、皮膚温が上昇するため、より快適な環境になると言えます。このように、上下の温度差は皮膚温に大きく影響するのです。



上下温度差・水平温度差の少ない住宅であれば、皮膚温の低下を防ぎやすく、結果として「冷え性」になりにくい室内環境となるのです。

## Housing Station LaLa の家だったら



住宅内で移動をする場合、寒い部分があると皮膚温は低下してしまいます。わずか 10 分後で皮膚温が下がることが実験されています。水平温度の差も、皮膚温の低下に大きな影響を与えます。



LaLa の「癒しほっとパネル」は床全面に敷き詰められている高断熱ウレタンパネルを温水管で温めることにより、床面に熱が伝わり、また蓄えられます。どの部屋も均一の穏やかなやさしい暖かさをお届けできます。室内の温度差を少なくすることで、冷え性も軽減され、快適に暮らせるようになるものです。ぜひ室内環境を整えて、身体に負担のない快適な冬をお過ごし下さい。